

図書館だより

7月号

令和7年7月1日
港区立青山中学校
校長 佐々木 希久子
学校司書 三島 裕美
図書館支援員 武田 優子
桑畑 恵美
小川 順子

いよいよ夏本番が近づいてきました。今年の夏の予定は立てましたか？
今回はひと夏の成長の物語や、部活の本、英語の本など夏休みにじっくり取り組んでもらいたい本を紹介しています。ぜひ本を通して夏を楽しんでくださいね。

夏休み特別貸し出しのお知らせ

夏休み中、1人6冊まで借りられます。

貸出期間は7月7日(月)～9月10日(水)まで。今、本を借りていてまだ読み終わっていない人は、一度返却してからもう一度借りて期間を延長してください。この機会にぜひ多くの本を読んでみてください。

<今月の特集展示>

『いのち』

現在、大阪では2025年日本国際博覧会が開催されています。テーマは『いのち輝く未来社会のデザイン』。8月15日には、戦後80年を迎えます。世界の平和を願い、いのちの大切さを改めて考えてみませんか。

<シンガポール展示>

シンガポール修学旅行の事前学習用に、シンガポール関連本を多数集めて展示しました。3年生はもちろん1、2年生もぜひ見てくださいね。「シンガポールクイズ2025」も実施中です♪

港区主催の図書館や本に関するコンテスト等を紹介します。

夏休みを使って
やってみよう！

中高生書評合戦2025

① POP バトル

募集期間 7月7日(月)～9月5日(金)

★おすすめの本を「POP」で表現してください。

② ビブリオバトル

募集期間 7月7日(月)～9月5日(金)

(決戦日2025年10月13日)

★おすすめの本を5分間で紹介(発表)してください。

第7回 港区図書館を使った 調べる学習コンクール

募集期間 9月1日(月)～9月30日(火)

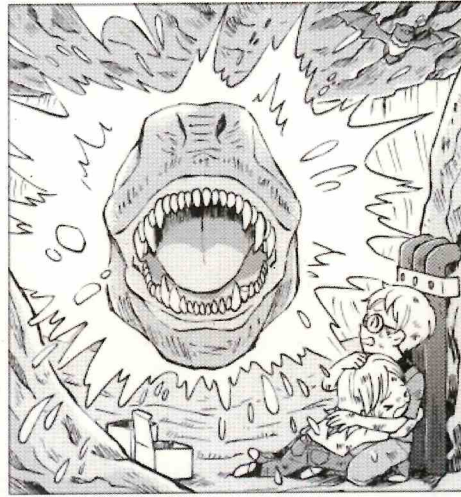
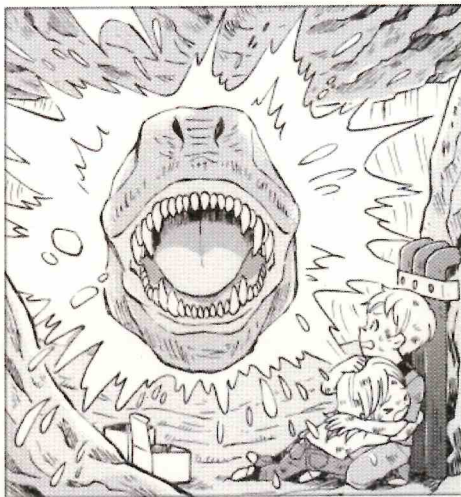
★各ポスター、申込書、参考資料等は青山中学校図書館にあります。

★興味のある方は図書委員、図書館スタッフに声をかけてください。

名作まちがいさがし

『ジュラシック・パーク』

マイケル・クライトン



ティムとレックスは、滝の裏側にあったパークの設備が置かれた場所で、グラント博士を待っていました。そこに、彼らを追っていたティラノサウルスが、滝の表側から水流を割って頭を突っ込み、二人に襲い掛かってきて……。下の2枚の絵の違いを5か所見つけてください。

★激ムズポイントのヒント：水しぶきの形

作品の概要・解説

中南米コスタリカの孤島に建設中の娯楽施設「ジュラシック・パーク」。クロニン技術で現代にのみがえった恐竜たちに人間が翻弄される、SF小説です。古生物学者のグラントと助手のエリ、数学者のマルコムらは、恐竜たちが生息するパークのオーブン前に、視察に訪れます。創設者ハモンドの孫で兄妹のティムとレックスも加わり、恐竜の見学ツアーを楽しんでいる中、設備を管理しているシステムに異常が発生。停電したパーク内で、恐竜が襲い掛かってきて――。

大ヒットの映画シリーズ、一作目の原作小説です。一九九〇年出版のため、視力がよいと判明しているティラノサウルスの目が物語では悪い設定であるなど、現代の知識と異なるところがありますが、エンターテインメントとして十分に楽しめます。著者のマイケル・クライトン（一九四二―二〇〇八年）は、アメリカの小説家。科学技術とそれを扱う人間の過ちを扱った作品が多く、ほかに「アンドロメダ病原体」、「スフィア球体」、本作の続編「ロスト・ワールド」などが出版されています。

※「ジュラシック・パーク」は早川書房から出版されています。

七月のおすすめ本

『Run, Melos!』 913/ダ



OSAMU DAZAI/著 RALPH E MCCARTHY/訳（講談社インターナショナル）

この本の邦題は『走れメロス』です。『中学生に読んでほしい30冊』として展示中でもあり、2年生の国語の教科書に載っているのを知っている人は多いと思います。青山中学校図書館には英語の本も沢山あります。この機会に英語と日本語の読み比べをしてみてもいいですか。また違った味わいを感じるとと思います。（三島）

『青春サプリ。』 375/ア



青木美帆/著（ポプラ社）

6月に届いた新着図書です。今回のシリーズ14巻では、うつを経験したバスケット少年が仲間とともに回復していく姿を描いています。青春の悩みや葛藤に寄り添う、静かで力強い物語。悩める人に届く、優しい癒しの一冊です。（小川）

『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら』 913/シ



汐見夏衛/著（スターツ出版）

現代から戦時中にタイムスリップした中2の百合。そこで出会ったのは、特攻隊員の優しく強い青年、彰。二人の絆が深まる中、戦争の現実が立ちはだかります。「命の大切さ」と「誰かを思う気持ち」を教えてください。涙なしでは読めない感動の一冊です。（桑畑）

『あの夏の正解』 783/ハ



早見和真/著（新潮社）

コロナ禍で消えた2022年夏の甲子園。この本は元高校球児の作者がリアルタイムで2校の野球強豪校の監督と選手たち取材した記録です。大会中止の噂、中止決定、代替試合…その時々彼らは何を思いどう行動したのか。多くの人がたくさん泣きながらも考え続けたあの夏。皆さん、正解は何だと思いますか？（武田）